



## 2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月8日

上場会社名 関西ペイント株式会社

上場取引所 東

コード番号 4613 URL <https://www.kansai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 石野 博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 浅妻 慎司

TEL 06-6203-5531

四半期報告書提出予定日 2019年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	325,631	9.2	24,815	14.2	27,956	13.3	16,766	7.3
2018年3月期第3四半期	298,064	21.8	28,917	10.4	32,230	8.8	18,082	2.7

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 3,810百万円 ( %) 2018年3月期第3四半期 35,614百万円 (119.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	65.19	56.47
2018年3月期第3四半期	70.28	60.99

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	585,924	322,780	46.6
2018年3月期	601,330	322,425	46.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 272,960百万円 2018年3月期 276,329百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		13.50		13.50	27.00
2019年3月期		16.00			
2019年3月期(予想)				14.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期中間配当金の内訳 普通配当14円00銭 創立100周年記念配当2円00銭

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	426,000	6.0	32,400	9.5	35,700	7.4	20,700	16.9	80.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	272,623,270 株	2018年3月期	272,623,270 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	15,478,839 株	2018年3月期	15,354,390 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	257,198,880 株	2018年3月期3Q	257,303,147 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当期における世界経済は、地政学的リスクの高まりが継続し、各国の政治・政策・通商問題の動向など依然として先行き不透明な状況が続いております。そのような状況下、中国経済は緩やかな減速傾向が見られますが、その他アジア新興国では景気回復が継続しており、米国の好調な企業収益や雇用の改善に加え、欧州の底堅い個人消費に支えられ、総じて景気の持ち直しの動きが継続しました。わが国経済は、豪雨など災害の影響もあり弱含んだものの、世界景気の緩やかな回復に支えられ、設備投資や雇用所得環境の改善を受け、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は3,256億31百万円（前年同期比9.2%増）となりましたが、営業利益は原材料価格高騰や販売費及び一般管理費が増加したことにより日本セグメントの利益が減少したことなどから248億15百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

また、アジアにおける持分法投資利益の増加や、関係会社株式及び投資有価証券の売却益の計上がありました。また、上記、営業利益の減少により、経常利益は279億56百万円（前年同期比13.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は167億66百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

#### 《日本》

自動車分野は、新車用分野では自動車生産台数が前年同期並みで推移するなか、市場シェア拡大に努めたことから、売上は伸長しました。工業分野では、建設機械向け塗料などが堅調に推移し、売上は前年を上回りました。船舶分野では、造船分野の低迷を受け、売上は前年を大きく下回りました。防食分野では、市況の本格的回復にはいたらず、売上は前年を僅かながら下回りました。建築分野及び自動車分野（補修用）においては、売上は前年並みとなりました。

これらの結果、当セグメント全体の売上は前年を僅かながら上回りましたが、原材料価格の高騰、販売費及び一般管理費の増加により、利益は減少し、売上高は1,195億27百万円（前年同期比1.9%増）、経常利益は143億41百万円（前年同期比20.7%減）となりました。

#### 《インド》

引き続き内需を中心に経済が伸長し、自動車分野では自動車生産台数が増加し、売上は伸長しました。建築分野においても、需要拡大継続のもと販売活動の促進に取組み、売上は伸長しました。しかしながら、原材料価格高騰や通貨安による為替換算の影響を受けました。

これらの結果、当セグメントの売上高は675億84百万円（前年同期比5.1%増）、経常利益は90億7百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

#### 《アジア》

中国においては、自動車生産は堅調に推移し、自動車分野での売上は前年を上回りました。工業分野の売上は建設機械向け塗料などが伸長し、中国全体での売上は前年を上回りました。インドネシアにおいては、経済が堅調に推移し、自動車分野、工業分野及び建築分野において売上は前年を上回りました。タイにおいては、自動車生産の回復を受け業績は前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は480億80百万円（前年同期比2.6%増）となりました。経常利益は原材料価格高騰の影響を受けましたが、中東地域において、のれん相当額の償却負担がなくなったことなどから持分法投資利益が増加し、48億85百万円（前年同期比57.6%増）となりました。

#### 《アフリカ》

南アフリカ及び近隣諸国の経済が低迷するなか、引き続き販売活動の促進に努めました。また、2017年8月に連結子会社化した東アフリカ地域各社の業績が寄与し、売上は前年を上回りました。しかしながら、継続している通貨安による原材料価格の高騰及び価格競争の激化などから、前年同期から改善しているものの収益は大きく圧迫されました。

これらの結果、当セグメントの売上高は297億33百万円（前年同期比23.7%増）、経常損益はのれんの償却を含め経常損失29億円（前年同期比 - %）となりました。

《欧州》

トルコでは、自動車生産は前年を下回ったものの販売活動促進の取組により、現地通貨ベースでは売上は大きく増加しました。しかしながら、通貨安の影響を受け、為替差損が増加したほか、持分法投資利益が減少したことなどにより、利益は減少しました。また、2017年3月に連結子会社化したKansai Helios Groupの業績が寄与し、セグメント全体の売上は前年を上回りましたが、原材料価格高騰の影響を受け、利益は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は562億37百万円（前年同期比35.6%増）、経常利益はのれんの償却を含め20億55百万円（前年同期比44.8%減）となりました。

《その他》

北米では、工業分野において自動車部品向け塗料などの拡販に努め売上は伸長しました。しかしながら、自動車生産は低調に推移し、競争の激化等の影響もあり、持分法投資利益は減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は44億68百万円（前年同期比11.3%増）、経常利益は5億66百万円（前年同期比23.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、2,688億93百万円（前連結会計年度末比57億35百万円増）となりました。流動資産の増加は、主に短期借入金の返済により現金及び預金が減少したものの、当社連結子会社への第三者割当増資に伴い、その他流動資産に含まれる未収入金などが増加したことによるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は、3,170億30百万円（前連結会計年度末比211億41百万円減）となりました。固定資産の減少は、主に投資有価証券及びのれんなどが減少したことによるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、1,624億39百万円（前連結会計年度末比261億60百万円増）となりました。流動負債の増加は、主に短期借入金などが減少したものの、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債などが増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は、1,007億4百万円（前連結会計年度末比419億20百万円減）となりました。固定負債の減少は、主に転換社債型新株予約権付社債などが減少したことによるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,227億80百万円（前連結会計年度末比3億54百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2018年11月9日発表の通期連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	65,088	55,198
受取手形及び売掛金	114,556	119,571
有価証券	8,579	3,052
商品及び製品	35,914	37,456
仕掛品	5,027	6,201
原材料及び貯蔵品	25,658	27,643
その他	11,371	23,050
貸倒引当金	△3,038	△3,281
流動資産合計	263,158	268,893
固定資産		
有形固定資産	123,913	123,760
無形固定資産		
のれん	47,203	42,688
その他	30,542	28,091
無形固定資産合計	77,745	70,779
投資その他の資産		
投資有価証券	99,812	83,127
その他	42,245	46,599
貸倒引当金	△5,544	△7,236
投資その他の資産合計	136,512	122,490
固定資産合計	338,172	317,030
資産合計	601,330	585,924

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	73,592	73,183
短期借入金	27,414	14,456
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	-	40,276
未払法人税等	4,211	2,661
賞与引当金	5,330	3,858
その他	25,730	28,002
流動負債合計	136,279	162,439
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	100,937	60,173
退職給付に係る負債	8,237	8,478
その他	33,450	32,052
固定負債合計	142,625	100,704
負債合計	278,904	263,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	13,232	22,342
利益剰余金	230,255	238,575
自己株式	△25,264	△25,534
株主資本合計	243,882	261,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,363	29,201
繰延ヘッジ損益	1,423	1,970
為替換算調整勘定	△6,732	△20,514
退職給付に係る調整累計額	1,393	1,260
その他の包括利益累計額合計	32,447	11,918
非支配株主持分	46,096	49,819
純資産合計	322,425	322,780
負債純資産合計	601,330	585,924

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	298,064	325,631
売上原価	199,096	224,684
売上総利益	98,968	100,946
販売費及び一般管理費	70,050	76,131
営業利益	28,917	24,815
営業外収益		
受取利息	1,023	1,021
受取配当金	1,494	1,624
持分法による投資利益	1,440	2,923
為替差益	171	-
雑収入	1,039	798
営業外収益合計	5,169	6,367
営業外費用		
支払利息	988	1,401
たな卸資産廃棄損	145	240
貸倒引当金繰入額	-	797
為替差損	-	302
雑支出	722	485
営業外費用合計	1,856	3,226
経常利益	32,230	27,956
特別利益		
固定資産売却益	37	39
投資有価証券売却益	506	1,174
関係会社株式売却益	-	855
子会社清算益	-	31
退職給付制度改定益	760	-
特別利益合計	1,304	2,100
特別損失		
固定資産除売却損	226	356
投資有価証券評価損	-	16
減損損失	301	-
災害による損失	-	140
早期割増退職金	468	410
特別損失合計	996	923
税金等調整前四半期純利益	32,537	29,133
法人税等	11,241	9,360
四半期純利益	21,296	19,773
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,213	3,006
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,082	16,766



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	21,296	19,773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,387	△6,641
繰延ヘッジ損益	△612	547
為替換算調整勘定	4,847	△11,065
退職給付に係る調整額	△137	△132
持分法適用会社に対する持分相当額	832	△6,291
その他の包括利益合計	14,317	△23,583
四半期包括利益	35,614	△3,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,222	△3,761
非支配株主に係る四半期包括利益	3,391	△49

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社の100%連結子会社であるKansai Helios Coatings GmbHは2018年9月28日を払込日として、第三者割当増資を実施いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が9,110百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が22,342百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	欧州	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	117,352	64,296	46,868	24,045	41,487	294,049	4,015	298,064	-	298,064
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	12,721	44	2,759	212	43	15,781	-	15,781	△15,781	-
計	130,074	64,341	49,627	24,257	41,530	309,831	4,015	313,846	△15,781	298,064
セグメント利益または損失 (△)	18,095	10,607	3,100	△4,032	3,723	31,492	737	32,230	-	32,230

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域

インド……インド、ネパール等

アジア……タイ、中国、インドネシア等

アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ウガンダ等

欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア、ルクセンブルク等

5. セグメント情報は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直し反映後のものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「日本」セグメントにおいて減損損失301百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「アフリカ」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間に東アフリカ地域各社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことから、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、8,828百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	欧州	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	119,527	67,584	48,080	29,733	56,237	321,163	4,468	325,631	-	325,631
(2) セグメント間の内部売上 高または振替高	11,527	44	2,590	240	80	14,483	0	14,483	△14,483	-
計	131,054	67,628	50,671	29,974	56,317	335,647	4,468	340,115	△14,483	325,631
セグメント利益または損失 (△)	14,341	9,007	4,885	△2,900	2,055	27,389	566	27,956	-	27,956

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域

インド……インド、ネパール等

アジア……タイ、中国、インドネシア等

アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ウガンダ等

欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア、ルクセンブルク等